

2022年9月5日

～食品ロス低減と、オレフィン系包装材のモノマテリアル化に貢献～ 透明蒸着 OPP フィルムの新製品「エコシールド® VP001」を開発

当社は、バリア性能に優れた透明蒸着フィルム「エコシールド®」シリーズとして初めてオレフィン系^{※1} 素材を使用した、二軸延伸ポリプロピレン(以下「OPP」)フィルム「エコシールド® VP001」を開発しました。2022 年末よりサンプルを出荷し、2023 年度上期中に販売を開始する予定です。

環境意識が世界的にますます高まる中、食品をはじめとする包装材の分野において、食品ロスを低減する機能を持つ製品やリサイクル性に優れた製品など、環境に配慮した製品の需要が増えています。一方、耐熱性や加工適性などさまざまな性能が要求される食品包装材は、異なる特長を持った複数の素材を貼り合わせて設計されることが一般的であり、それらを分離するのが困難であるためリサイクルしにくいという課題があります。

新製品「エコシールド® VP001」は、当社が新たに開発した専用の高耐熱 OPP フィルムに独自の蒸着加工を施した包装用ハイバリアフィルムです。酸素ガスや水蒸気に対する高いバリア性能を保有しており、食品の鮮度を維持したり、消費・賞味期限を延長することができるなど、食品ロスの低減に貢献します。また、これまで OPP フィルムでは困難とされてきた高い耐熱性とバリア性の両立を実現しました。今後、熱殺菌処理を必要とする用途において、他素材のフィルムからの置き換えを促進し、オレフィン系素材のみで構成される単一素材構成(モノマテリアル)の包装材の実現に向けた提案を進めます。

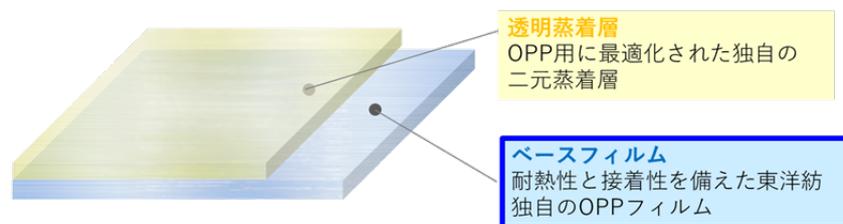
当社はこれまでも、モノマテリアル化に適した製品として、ポリプロピレン素材では乾物用途向けのバリア OPP フィルム「DP065」^{※2}を、ポリエステル素材ではヒートシール性を有する「オリエステル®」を展開しています。今後も環境に配慮した高機能なフィルム製品ラインナップを拡充し、循環型経済の実現に貢献していきます。

※1 ポリプロピレン、ポリエチレンなどを代表とする、炭素間に二重結合を一つもつ化合物を単量体(モノマー)とする高分子化合物の総称

※2 2021年2月1日付 当社ニュースリリース「OPP バリアフィルムの新製品を開発～包装材のモノマテリアル化を実現し、プラスチックのリサイクルを促進～」 https://www.toyobo.co.jp/news/2021/release_1076.html

◆「エコシールド® VP001」について

(構成模式図)



(特長)

- 透明蒸着層による優れたガスバリア性
- 熱殺菌処理耐性
- 安全性: 国 PL 適合、厚生省告示第 370 号適合
- 加工適性(ラミネート性、製袋適性など)の向上
- ベースフィルム: 専用の高耐熱 OPP フィルムを開発
- 非塩素系材料の使用: リサイクルや焼却時に塩素系ガスの発生無し



「エコシールド® VP001」

以上

■お問い合わせ先

東洋紡株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

電話: 06-6348-4210 (本社) 03-6887-8827 (東京支社) E-mail: pr_g@toyobo.jp